

農山漁村地域整備計画

計画の名称					
山形県漁港漁村整備計画					
計画策定主体					
山形県					
対象市町村					
酒田市、鶴岡市、遊佐町					
計画の期間					
平成22年度～平成26年度（5ヶ年）					
計画の目標					
安心な暮らしと漁業活動ができる海岸整備、安全に水産物を供給できる漁港整備、安定した生産量の確保が期待できる漁場整備による水産振興の推進					
評価指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・吹浦漁港において、サンドポケット整備により漁船65隻分の安全に航行・係留のできる泊地の確保 ・由良地区において、魚礁整備によりイワガキの漁獲量60tの増加 ・飛島漁港海岸において、高潮対策により被害想定区域面積4.6haの解消 					
対象事業					
＜継続地区＞					
事業名	地区名	事業実施主体	工期	総事業費 (千円)	主な事業内容等
地域水産物供給基盤整備事業	吹浦漁港	山形県	H22～H23	73,000	サンドポケット浚渫 (15,000m ³)
	由良地区		H22～H23	266,620	イワガキ増殖礁整備 (1.8ha)
海岸保全施設整備事業（高潮対策）	飛島漁港海岸	山形県	H22～H26	(432,840) 432,840	胸壁・陸閘整備 (1,116m)
合計				(432,840) 772,460	

※総事業費の（ ）は離島分（内数）

山形県漁港漁村整備計画 位置図

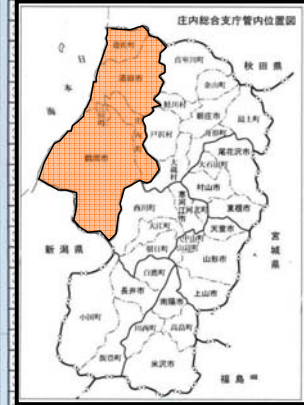
吹浦漁港
【地域水産物供給基盤整備事業】

飛鳥漁港海岸
【海岸保全施設整備事業】

酒田市
鳥海国定公園
(飛鳥地区)

1 : 200,000

No.	一般県道	No.	一般国道
115	飛鳥町道	115	飛鳥町道
117	余目町道	117	余目町道
118	日野町道	118	日野町道
131	余目町道	131	余目町道
199	余目停車場線	199	余目停車場線
205	砂越停車場山崎線	205	砂越停車場山崎線
206	木橋停車場線	206	木橋停車場線
208	遊佐停車場臨時線	208	遊佐停車場臨時線
210	鳥海公園吹浦線	210	鳥海公園吹浦線
211	月山公園線	211	月山公園線
315	平田鮭川線	315	平田鮭川線
332	面野山鶴岡線	332	面野山鶴岡線
334	三瀬水沢線	334	三瀬水沢線
335	湯田川羽前大沢停車場線	335	湯田川羽前大沢停車場線
336	西目大森線	336	西目大森線



No.	一般県道	No.	一般国道
360	砂越余目線	360	砂越余目線
361	大沼新田湯川停車場線	361	大沼新田湯川停車場線
362	海ヶ沢松山線	362	海ヶ沢松山線
363	田沢下新田線	363	田沢下新田線
364	安田砂越停車場線	364	安田砂越停車場線
365	丹能寺砂越停車場線	365	丹能寺砂越停車場線
366	井田観音寺線	366	井田観音寺線
367	北境権線	367	北境権線
368	鳥海公園青沢線	368	鳥海公園青沢線
369	比子八幡線	369	比子八幡線
371	善里直世下野沢線	371	善里直世下野沢線
373	杉沢南鳥海停車場線	373	杉沢南鳥海停車場線
374	比子南鳥海停車場線	374	比子南鳥海停車場線
375	十里塚遊佐線	375	十里塚遊佐線
383	板井川下山添線	383	板井川下山添線
385	立川鶴岡自転車道線	385	立川鶴岡自転車道線

—	一般県道
—	国立・国定公園
—	県立自然公園
○	市町村役場
—	一級河川(道轄河川)
—	二級河川
—	準用河川

由良地区(鶴岡漁場)
【地域水産物供給基盤整備事業】

平成二十年四月 山形県庄内総合支庁

農山漁村地域整備計画に係る事前評価

1 計画の名称 山形県漁港漁村整備計画

2 計画策定主体 山形県

3 評価事項及び内容

(1) 目標の妥当性

- 山形県水産振興実践計画及び山形沿岸海岸保全基本計画に即した計画目標である。
- 関係市町策定の水産振興計画及び地域防災計画との整合性がとれている。

(2) 整備計画の効果・効率性

- 整備計画の目標と整合性がとれる定量的指標となっている。
- 定量的指標と事業内容の整合性がとれている。
- 事後評価が可能な適切な指標となっている。
- 地区毎の個別事業の費用対効果分析結果が、1.0 以上であり、事業による効率性が十分見込まれる。

(3) 整備計画の実現可能性

- 地形、地質、地理状況から見て、個別の事業実施が技術的に可能である。
- 事業を実施するにあたり、地域関係者等から同意又は理解を得られている。

4 評価結果

以上により、山形県漁港漁村整備計画は、目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、整備計画の実現可能性について問題はなく、妥当である。